

上益城郡民体育祭

7月6日、12日、13日、20日の4日間、第64回上益城郡民体育祭が開催されました。18競技、23種目で熱戦が繰り広げられ、町の代表として、14競技、18種目に220人が出場しました。結果は次のとおり

【総合】

1位・益城町、2位・御船町、3位・甲佐町、4位・山都町、5位・嘉島町

【種目別】

- 1位(7種目) 野球、卓球、バレーボール女子、バスケットボール男子、バスケットボール女子、ゲートボール女子、グラウンドゴルフ男子
- 2位(5種目) 水泳、ソフトボール男子、ソフトテニス、ゲートボール男子、グラウンドゴルフ女子
- 3位(5種目) 陸場競技、バドミントン、バレーボール男子、剣道、弓道
- 4位(1種目) 空手道
- 不参加(5種目) ソフトボール女子、柔道、銃剣道、相撲、サッカー



1_6連覇したバスケットボール男子 2_5連覇したバレーボール女子(スパイクを打つ小永由依選手) 3_バレーボール男子(スパイクを決める野口拓朗選手) 4_弓道 5_優勝したゲートボール女子 6_陸上競技男子40歳~49歳砲丸投で1位の牧鶴満徳選手 7_ソフトテニス 8_剣道 9_2連覇した軟式野球(逆転ホームランを打つ伊藤一明選手) 10_2連覇の卓球競技(梅本玲二選手)

宮部鼎蔵シンポジウム

7月6日、郷土先哲のひとり「宮部鼎蔵」の没後150年記念シンポジウムが、町カルチャーセンターで開催されました。宮部鼎蔵没後150年記念事業実行委員会(山本孝二会長)主催。午前中は、宮部兄弟顕彰会(河部二男会長)主催の顕彰供養祭が、鼎春園(上野)で予定されていましたが、雨天のため七滝中央小学校体育館での開催となり、地域住民など約100人が参加しました。午後からカルチャーセンターホールで開催されたシンポジウムでは、木村幸比古(きむらさちひこ)霊山歴史館(京都府)副館長による講演が行われたあと、「明治維新と宮部兄弟」のテーマで5人のパネラーによる、パネルディスカッションが行われました。会場を埋め尽くした参加者たちは、宮部鼎蔵、春蔵2人の兄弟が生きた幕末の時代を感じていました。



1_講演とコーディネーターを務めた霊山歴史館副館長の木村幸比古さん(パネルディスカッションのパネラー) 2_吉田松陰顕彰会代表の山本貞寿さん 3_一般財団法人養生会理事長の小笠原豊さん 4_宮部兄弟顕彰会副会長の田中外至さん 5_高杉晋作の語り人の亀田真砂子さん 6_不知火龍馬会代表の野口修一さん 7_七滝中央小学校6年生8人による寸劇「宮部鼎蔵さんのこと」 8_アトラクションで披露された古閑迫寅舞保存会と鼓心会社中による「古閑迫寅舞」 9_雨天のため、七滝中央小学校体育館で行われた「宮部鼎蔵先生顕彰供養祭」



緊急時に備え夏季訓練

7月13日、町消防団(石坂浩秋団長、390人)の平成26年度夏季訓練が行われ、副班長以上の団員約80人が参加しました。訓練では普通救命講習や規律訓練、災害に関するシミュレーションを実施。団員は応急処置技能を維持するため、数年に一度、必ず普通救命講習を受講するよう努めています。講習では上益城消防署職員による、心肺蘇生法や簡易応急手当、AEDを使った実施訓練を行い、緊急時の対応を再確認しました。



AEDを使い訓練を行う消防団員

上益城郡操法大会

7月6日、嘉島町役場駐車場で平成26年度上益城郡消防大会が開催されました。今年は2年に1度の小型ポンプ操法競技が行われ、各町代表11チームが規律やホースの延長、水出しまでのタイムを競いました。町代表として、第4分団第3班(七滝)と第9分団第2班(陣)が出場。優勝は逃しましたが、9分団2班の志田磨(しだ きたま)団員が2番目の優秀選手に選ばれました。

- 【結果】 嘉島町消防団第1分団第2部(1位)
第4分団第3班(4位)
第9分団第2班(9位)



4分団3班の操法競技